

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

県高校総体 体操男子

# 田辺工業団体の9連覇

## 20年連続インターハイへ

県高校総体・体操競技の部が1～3日、和歌山市の県立体育館であり、田辺工業が男子団体総合で9年連続の優勝を決めた。男子の個人総合や種目別(6種目)もすべて同校の選手が優勝した。

同校は男子団体総合でこの20年間、10連覇、準優勝、9連覇の成績。準優勝だった2009年の全国高校総体(インターハイ)は県内開催で準優勝チームも出場できたため、インターハイへの出場は20年連続となる。今回の県高校総体の体操競技には、団体、個人合わせて7校51選手が出場した。男子団体は各校4選手が、ゆか▽あん馬▽つり輪▽跳馬▽平行棒▽鉄棒を演技し、各校上位3選手の得点を合計して順位を決めた。田辺工業は214・150点を獲得。2位の和歌山工業(108・



インターハイへの出場が決まった田辺工業のメンバー

350点を大差で破った。

男子個人総合は1～6位の入賞者全員が田辺工業の選手だった。優勝は6種目中、ゆかとつり輪、鉄棒の3種目で1位となった3年の今岡一斗君。あん馬で1位、つり輪と跳馬で2位だった2年の松田治樹君が2位。3位は3年の中虹太君だった。種目別も、6種目の1～3位はすべて田辺工業の選手が占めた。

8月4～6日に静岡県で開かれるインターハイには、田辺工業の男子団体総合として、今岡君、松田君、中虹太君、中開紀君(2年)、中心大朗君(1年)、森山一稀君(3年)が出場する。個人戦には個人総合4位だった田辺

工業の石関陸輝君(1年)と同5位だった上村昌臣君(3年)が県代表で出場する。

田辺工業の新藤大知顧問は「20年連続全国大会出場という偉業を成し遂げた部員たちに賛辞を送りたい。この記録を更新できるように部員たちと共に頑張りたい」と話した。

### 16日から近畿大会

#### 女子が15年ぶり出場

16、17日に大阪市で近畿高校体操競技選手権大会が開かれる。男子団体は県総体で優勝した田辺工業と準優勝の和

歌山工業の2校が出場する。男子個人戦には県総体の成績優秀者が出場する。田辺工業からは石関陸輝君、上村昌巨君、林聖人君(2年)、中虹太君、今岡一斗君、松田治樹君、中開紀君、森山一稀君、中心大朗君が出場する。田辺からは県総体で個人総合8位だった早稲田佑慎君(3年)が出場する。

また女子個人戦に、田辺工業から15年ぶりに、県総体で個人総合9位だった谷本愛心さん(1年)、同11位となった大橋美穂さん(3年)が出場する。